



佐藤 高清 議員
市政会

問 三助の精神、行政運営に活かせ

答 補完性の原理のもと進めていく

問 市政における収入と支出のバランスの現状、何に重きを置いているのか、また将来の見通しについて伺う。

答 **総務部長** 歳入は、交付税の縮減などにより減少し、33年にはなくなることから、さらに減額が予想される。

歳出は、庁舎建設や駅橋上化など投資的経費が増加することから厳しくなる。

問 自助、公助の限界について伺う。

答 **総務部長** 補完性の原理のもと、政策を進める。将来的な社会保障のあり方について伺う。

答 **介護高齢課長** 公助の役割を果たすとともに、介護予防を促進し、給付費の削減に繋げる。

問 保育料の見直しの方針、また見直しを行った場合の増額見込みは。

答 **民生部長** 国基準では1億9300万円。県基準では6千万円の増額見込み。

問 都市計画税の課税を行

った場合の増額の見込みは。
答 **市長** 導入は考えていない。

問 公立保育所を民間委託した場合、また公設民営化を行った場合の増額見込みは。

答 **民生部長** 仮にひので保育所を民間に移管した場合、国・県からの負担金で7千万円程度の財政効果

問	競馬場移転を 発展の起爆剤に
答	地域の活性化に つなげたい

名古屋競馬場の弥富トレンセンへの移転計画について以下伺う。

問 愛知県競馬組合へ加入した場合、税収面でのどのような収入が考えられるか。

答 **市長** 様々な条件提示が予測されるが、加入へ

の意向は伝えている。税収面に関しては、まだ詳細は分からない。
問 競馬場移転計画との関連と併せ、地域の土地利用をどのように考えているか。

答 **市長** 移転に際し、17haの未利用地を県は売却を考えている。この未利用地は現在、市街化調整区域だが、市街化への編入を要望している。
娯楽性の強い事業なので、関連した様々な産業の誘致が可能となることから、土地の利用と産業誘致により、税収増が期待できると考えている。



▲弥富トレーニングセンター（駒野）